

◎都市からの資金支援に向けた情報発信の強化の必要性を認識

No.10	都市と地方を結ぶ土沢型地域ファンド組成プロジェクト（H23）		
実施主体	株式会社土澤まちづくり会社 株式会社ごえんカンパニー	実施市町村	岩手県 花巻市 東和町 土沢地区

◎事業の背景

岩手県花巻市東和町土沢は商店街を中心に形成され、東和町の経済の中心として大きな役割を担ってきたが、ロードサイド型の大型店の進出による消費者の流出、人口の減少、高齢化が進み、商店街の衰退が進んでいる。

平成14年、中心市街地の活性化を目的とした第三セクター(株)土澤まちづくり会社(旧東和町500万出資、町民株主500万出資)が設立され、月1回の「ちょこっと市」、冬季に行われる農村部に商店街が向う「押しかけ商店街」など街のにぎわいを取り戻すためのソフト事業に取り組んでいる。

しかし、駐車場などの収益事業を持たないため、設立当初から、国、県、財団等の補助金、助成金に頼る運営を続けてきた。

このため、行政等からの助成金に頼ってきた地域活性化活動を、助成金依存体質から脱却して自立可能な仕組みとすることが必要となっていた。また、都市生活者と地方の商店街をつなぐ新しい仕組みをつくり、都市生活者から資金を調達することが課題となっていた。

◎事業の概要

活動①：地域ファンド組成の事前調査及びマーケティング活動

土沢地区におけるコミュニティファンドに対するニーズを洗い出すための事前調査として、以下を実施した。

- ・ファンド対象となる事業領域を決定するために、食・観光・アート・農業・コミュニティ・伝統など土沢地区と関連がある複数の分野で活躍する人物10名を対象に、支援される側、支援する側のニーズについてヒアリング調査を実施した。
- ・過去に土沢地区で実施されたイベント時に回収したアンケートを入手し精査・検討を行った。
- ・コミュニティファンドの設置事例を対象に、出資等の動向調査を実施した。

活動②：地域ファンドのあり方に関する検討会の実施

本調査では、以下の3つを実施した。

- ・活動①のアンケート結果を受けて、地域ファンドに関するニーズを集約、検討し土沢地区への適用の方法を分析・検討する。
- ・活動①の対象事業の精査を受けて、地域ファンドの設立に係る具体的な問題点、リスクを洗い出し必要に応じて、解消施策を検討する。
- ・以上の検討結果を通し、土沢に最適なファンドの方式を決定する（支援のルール、対象範囲・地区、周知方法、募集方法、支援方法）。

活動③：地域ファンドの実践及び調査結果のとりまとめ

当初、本活動ではファンドの設立準備及びそのとりまとめを実行する予定であったが、実際の本格的なファンド設立には至らなかった。

これにかわりホームページを構築し、まずは擬似的なアートファンドプログラムの仕組みを構築し、本格的なファンド構築への布石とすることとした。

ステークホルダー	役割
①株式会社土澤まちづくり会社	事業の実施主体
②株式会社ごえんカンパニー	ファンドの設立検討に関する専門的アドバイザー
③土澤芸術庭園	ファンド構築に向けた仕組みのモデル検討への協力

(1) 中間支援の特徴（取組の中で見られた工夫や取組が上手く進んだポイント等）

- …中間支援における特徴的な工夫 ●…中間支援における失敗と対応

実施中（平成 23 年度）

●企業の理解を得ることが困難であったことなどから、ファンドの組成には至らず

ファンドの法的な仕組みやスキームを学ぶことはできたが、地方の経済状況などから、収益性を求める企業から、目に見える形でのメリットが不明確なまちづくりに支援することに対する理解を深めてもらうには至らなかった。

また、都市部などからの資金調達に向けては、まちの情報発信の強化が必要なことが認識された。

●地域ファンドの課題が浮き彫りになり、ファンドを利用した資金調達実行のための手順が示された

支援対象とする事業の明確化と魅力の掘り下げ、情報発信の強化、対象事業にマッチした資金調達方法検討など、地域ファンド導入に向けた課題が明らかとなった。

土澤芸術庭園をモデルとして、将来のファンド構築に向けた情報発信を軸とする手順を検討した。

終了後（平成 24 年度～）

企業の理解が得られなかったことなどから、事業は継続していない。まちの情報発信不足を認識したことから、都市に向けた情報発信の強化を検討している。

都市に自ら出向き、地域の情報発信を行うとともに、都市の生活者・消費者と直接対面して、交流を持つことを目的に、東京都板橋区の大山商店街ハッピースクエアを会場として、平成 24 年度に物産販売のイベントを開催した。

平成 25 年度に第 2 回のイベントを開催する予定となっている。

また、商店と農家をメンバーとした研究会を平成 25 年度に立ち上げ、イベントの企画運営を含め、地域の情報発信をテーマとした検討を進めている。

(2) 成果と課題

（事業の成果）

◎情報発信の強化に向けたホームページ構築

ファンドの組成には至らなかったが、地域のアート活動を情報発信するホームページを構築した。

◎地域ファンドのスキーム検討

地域ファンドを展開する地区に適したスキームを検討することができた。

（事業の課題）

◎情報発信の強化や企業の理解促進などが地域ファンドの導入には必要

情報発信力の弱さや企業の理解を得ることの困難さといった地域ファンドの課題が浮き彫りとな

った。

◎事業規模、取組の熟度に応じた資金調達方法の検討

地域ファンドの構築に向けては、企業の理解を深めるための工夫、ファンドへの資金供与に結びつけるための情報発信の強化が重要となる。

(3) 今後の展望

◎地域の情報発信の拡充

土沢地域を都市に向けて情報発信する商店と農家をメンバーとした研究会を開催しており、東京都心部でのイベントの継続など、地域の情報発信の拡充を検討していく予定となっている。